

タイトル 「研究発表 I」

講演者 田中 章夫 様 (株式会社セルクル)

学校名 城郷高等学校

講演テーマまたは研究テーマ 「交通事故ゼロの方法」

### 1 はじめに

交通安全教室を開くにあたって、交通事故を自  
分事として捉える必要があります。年間で起きる  
交通事故の件数は 60 万件、交通事故による負傷者  
数は 80 万人、死亡者数は年間 4000 人にもなりま  
す。日本の人口を考えると 2 人に 1 人は生涯のう  
ちに一度は交通事故で怪我をする可能性があります。

### 2 交通事故ゼロとは

そもそも交通事故とは、車・自転車・人などが  
接触することで起きてしまいます。交通事故をゼ  
ロにするためには車・自転車・人が接触しないよ  
うにすることが必要です。これまではお互いが注  
意しながら運転・歩行することが大切だと指導し  
ていました。ただ、注意した上で事故が起きてし  
まうという現状を踏まえて、自転車乗車中の注意  
しなくてもできる対策や習慣づけに重点をおいて  
伝えたいと思います。

### 3 自転車は車道を走る

交通事故を防止できる対策として自転車でも車  
道側を走る習慣をつけることが挙げられます。交  
通事故が起きている場所を確認してみると交差点  
内での事故が八割を超えています。交差点を想定  
した時に車道を走る自転車と歩道を走る自転車を  
比べてみると、交差点で死角からの現れるものを  
認識できる距離が変わってきます。車道を走る自  
転車は対象物に気づいてから止まるまでに十分な  
距離があり、一方で歩道を走る自転車の場合は気  
づくことができても平均的な自転車の速度では止  
まることができずに接触してしまうのです。

また、車道を走ることによって車のドライバーから認  
知されるようになります。車のドライバーから認  
知されることは、車の左折時や自転車のふらつき  
による接触を防ぐことにつながります。

### 4 「一時停止」の標識に従う

当たり前のことですが、道路交通法に則って道  
路標識などに従って自転車を運転することも重要  
です。特に「一時停止」の標識において、自転車  
が一時停止せずに通過する場面が多々あります。  
話を聞くと、車や歩行者がいないことを確認して  
いたり、見通しが良いことを理由にしたりと様々  
ですが、そのような判断を繰り返すよりも『一時  
停止』の標識は必ず止まる」という習慣をつけて  
運転をしましょう。これは車を運転できるようにな  
ったときにも必要不可欠なことです。一時停止  
をすることで慎重に交差点へ侵入することにつな  
がり、事故のリスクを減らすことができます。

### 5 ヘルメットの重要性

最後にヘルメットの重要性について触れておき  
ます。今までは交通事故を起こさないための対策  
や習慣でしたが、ヘルメットは事故を深刻化させ  
ないため、重傷や死亡のリスクを減らすためのも  
のだと考えています。交通事故の負傷部位を割合  
で見ると、七割が頭を負傷します。また頭を負傷  
した事故の中でも、七割以上が死亡もしくは重傷  
であることが分かっています。

現在は自転車乗車時のヘルメット着用は努力義  
務ですが、今後ヘルメットの着用が必須になるこ  
とも予想されるので、今からヘルメットを着用す  
る習慣をつけておきましょう。